

**施政方針・行革・
観光による
産業振興**



政岡哲弘

行革

問 津山に新たな魅力と活力を創生するための施策とは。また、行政と議会が協働し、コスト縮減を図るべきでは。

答 歴史・文化・自然等地域資源をさらに磨きあげることで、市民が愛着と誇りを感じる特性となる。また、行政コスト縮減の取り組みは同感である。

観光

問 地域資源を活かし、観光都市を目指すべきでは。例えば、旧津山扇形機関車庫の利活用、スポーツツーリズム等多様な角度から交流人口の増大を図るべきでは。

答 JR西日本の整備計画に併せ、積極的な活用策を検討したい。また、スポーツツーリズム等交流人口増大のための施策に取り組みたい。観光立市を目指していくために、柔軟な体制で、効果的な施策実施を図りたい。



旧津山扇形機関車庫

**津山駅前整備と
都市計画道路
平福横山線整備**



津山誠心会議
野村昌平

道路整備

問 津山駅前整備の進捗状況、完成見通しは。

答 平成26年9月に工事着手し、平成28年度末の完成を目指している。用地買収は約9割の同意をいただいております。残りの交渉に全力



駅前の整備状況

で当たっている。賑わいゾーンは、観光センター（仮称）と民間店舗1軒が建設中。

なお、国が国道53号の自転車歩行者道を本年度から用地買収、工事着手予定と聞いています。

問 都市計画道路「平福横山線」については。

答 整備中の都計道路「総社川崎線」の完成見通しが立ったら「平福横山線」の残り区間の事業着手を検討する。着工区間予定は、津山南道路や駅周辺事業の本路線への効果・影響を考慮して検討する。尚、今後の立ち退き予定家屋数は概ね70軒と算定している。

津山市の未来をどのように描くのか



津山新星会議
小椋 多

総合計画・総合戦略

問 計画期間10年の総合計画と5年の総合戦略、どのように整合性を確保するのか。

答 第5次総合計画は長期的な地域づくりを見据えながら10年間のまちのランドデザインを描くと共に、本市のあらゆる分野の計画や事業の方向性を示す最上位計画であり、行政運営の指針である。総合戦略は第5次総合計画を基本とし、国や県の総合戦略も勘案しながら人口減少や少子化の克服、地域創生を目的とし、産業の活性化による仕事の創出、移住、定住、人の流れの創出、結婚・出産・

子育て・広域連携などによる地域の好循環を生み出すための実行計画である。事業推進においても整合性を図りながら取り組む。

問 総合企画部の果たす役割とは。

答 目指すべきまちの姿を描き、組織の中心としてまちづくりを推進することである。



総合計画審議会の様子